

ケ午後六時再ヒ両者ノ會見アリ爭議團側ハ一二三ノ各項ノ昇
給率及昇給實施ノ時期ヲ決定サレ度シ云々ヲ述ヘ部長ハ即答
ヲ避ケタル為メ打切り

翌八日更ニ両者ノ會見交渉アリタルモ社側ハ前日ノ回答以外
絶対譲歩セサル旨ヲ言明シタルニ爭議團ハ嘆願書ヲ要求書ト
改メタル持ハ客書スルヤ等ヲ質問シタルカ部長ハ各自ニ拘泥
セスト答ヘ結局不調ニ終リタリ

七、事業主側ノ態度

社ハ万一ヲ予測シ既ニ深川區某運送店ト罷業決行ノ際ハ即時
臨時従業員雇入ノ内約ヲ為シアルモノ、如クナルカ社ハ此際
若干ノ犠牲ヲ拂フモ断然不良分子ヲ掃蕩スルノ覚悟ニテレモ
ノ、如シ

八、善後者側

全場系ニ屬スル一部分子ハ印刷部、左翼分子ト連絡シニコース

機字ヲ乗布シ一面職場會議ヲ時々同催シテ氣勢ヲ示スト其

アシアワシツ・アルモ僅カニ文藝養成員(見習)及印刷ノ一
ノ実地者アルノミニシテ機字給取ハ却テ反對ヲ表示シオル
状況ニアルヲ以テ發送部員中ニハ早クモ交渉打切りヲ主張ス
ルモノ出テタリ

右及申(通)報候也